

朝鮮民族運動史研究会第四二回例会

## 『朝鮮義勇隊通訊』を読む

鹿嶋節子

つてからは題名も『朝鮮義勇隊』と変更されている。

朝鮮義勇隊は中國閩内で活動していた朝鮮人獨立運動家の中の三〇頁である。写真は少なく時々挿し絵がある程度。値段は當金元鳳を中心とする勢力によつて、一九三八年十月漢口でつくらは「國幣三分」、一三期からが五分、二八期は四分、三四期かれた。朝鮮の獨立と解放を目標にして軍事活動をすることを目指らは一角で、四十期以降は値段がついていない。

したが、実際には中国の対日戦争の勝利が朝鮮の解放に繋るといふ認識の下に中国軍を支援する「国際支援軍」という性格であつた。そして中国国民党軍事委員会の管轄の下に、日本語や朝鮮語期以降には「\* \* 刊」という記載はない。発行部数は不明であるが出来るという特技を生かして、前線での情報蒐集、日本軍に對が、「本刊已得審查證第\* \* 号」といった番号が印刷されている。捕虜の尋問や教育などの活動に従事していた。

当初は旬刊で、毎月一日、十一日、二十日の発行となっていたが、二八期より半月刊となり、三四期からは月刊となつて、三七

『朝鮮義勇隊通訊』は、その朝鮮義勇隊の中国語による宣伝誌民党当局の許可を受けて発行されていたものであることがわかる。

朝鮮義勇隊では『朝鮮義勇隊通訊』のほかにも朝鮮語、中国語　このような発行の形態から見て、朝鮮義勇隊の創設後、桂林でいくつかの機関誌を出していたようであるが、それらのうち現あつて、比較的落ち着いた活動をしていた時期には機関誌の発行も定期的であり形式も安定していたが、その後、重慶へ移動を余

『朝鮮義勇隊通訊』の内容はこれまでも、韓国の独立記念館儀なくされ、その混乱や、四〇年以降の部隊の移動、金九勢力と独立運動史研究所の『韓国独立運動資料叢書第二輯』、秋憲樹編の合作など朝鮮義勇隊をめぐる情勢の変化によって、機関誌の発刊の『資料・韓国独立運動3』（延世大学出版部）、あるいは『社行まで手が回らなくなっていた様子』が読み取れる。編集委員は運動の状況などに納められていたが、いずれも部分的なもの朝鮮義勇隊の母体である朝鮮民族戦線連盟の幹部たちで、これらであるか、また一部の「号」に過ぎなかった。しかし最近、中国の人々は論説的な記事を多く執筆している。

の国立北京図書館所蔵のもののコピーが入手できて、かなりまとまった形で見る事ができるようになった。

内容としては、朝鮮義勇隊活動の理念に係るもの、具体的な朝鮮義勇隊の活動報告、朝鮮革命についての考察、時評、国際連帯

現在見ることできる『朝鮮義勇隊通訓』は三十九年二月五日発を訴える論説、詩、宣言、追悼文等々であるが、特に朝鮮義勇隊の第三号、四月二一日発行の第十期、五月十一日発行の第十二の活動の理念に係るものは、中韓連合戦線によって日本と戦うこの期から十一月一日発行の第二八期、四〇年五月十五日発行の第三とを強調し、当初はその手段として朝鮮義勇隊は対敵宣伝に力を四期、九月十三日発行の第三七期から四二年四月二日発行の第四注ぐことを訴え、時代が進むにつれて、直接的な武装隊伍を建て二期までの二三号分である。そのうち、二八期までは桂林で発行して戦闘に参加することを主張するようになってゐる。また、閩内され、それ以降のものは重慶で発行されている。また、重慶に移の朝鮮人独立運動勢力の統一問題についても繰り返しその必要性を説いている点が目をひく。

在日朝鮮人運動史研究会関西支部会

第一七四回例会（一九九五年六月十八日）

日本炭鉱労資関係における民族・性別問題：1932年麻生炭坑争議を中心にして  
ドナルド・スミス

1 はじめに

2 筑豊地方の特長

3 何重にも重なる差別構造

◆差別の対象：

イ、筑豊住民（全国的に）

ロ、坑夫

ハ、島から来た人

ニ、被差別部落民

ホ、朝鮮人

ヘ、女性

4 労働過程における被差別諸集団の地位

イ、女性

ロ、被差別部落民

ハ、朝鮮人

5 1932年8月15日、9月3日麻生炭坑争議

イ、争議の経過

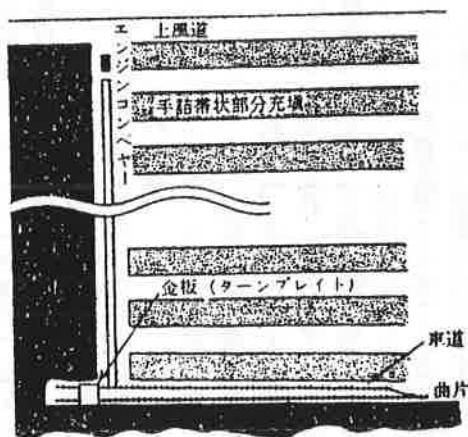
ロ、労働者同士の団結と対立

6 争議の意味

イ、朝鮮人の勇気と戦闘性

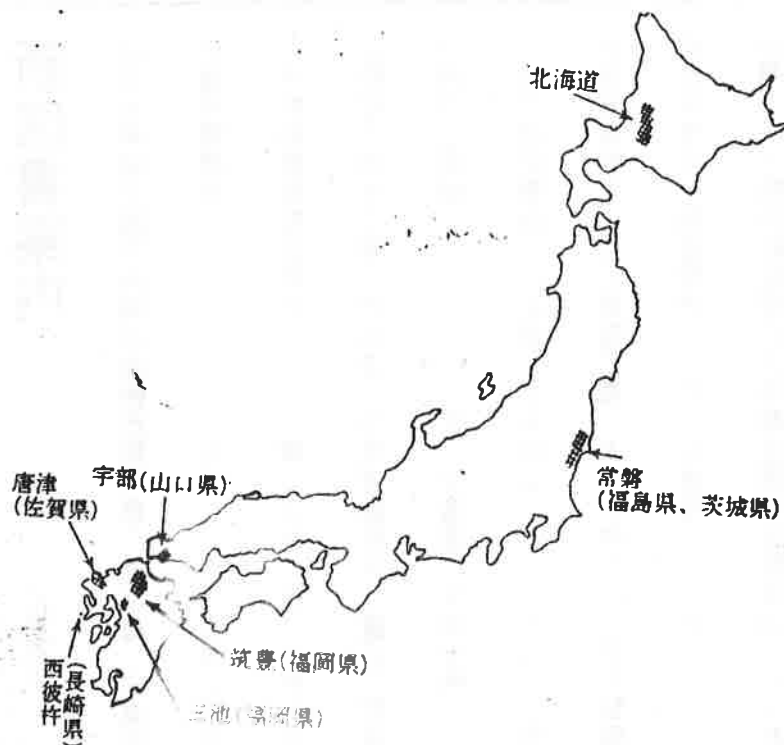
ロ、民族間、男女間の団結の弱さ

7 最後に：炭鉱労資関係と今日の労働運動、民主主義



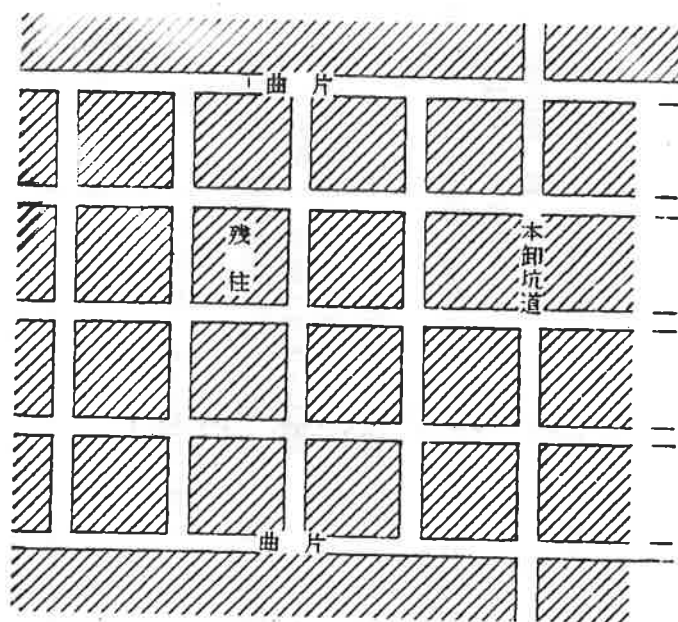
長壁式採炭法

出典：金子雨石 「筑豊炭坑ことば」 名著出版 1974年



### 日本の主要炭田

出典：『石炭鉱業の技術革新と女子労働』



残柱式採炭法(1899年)

出典：金子雨石 「筑豊炭坑ことば」 名著出版 1974年

## 新図書案内

☆日本帝国主義下台湾の宗教政策 祭 錦堂著 同成社

☆満州國歴史 矢野仁一著 目黒出版社

☆李朝商業政策史研究 須川英徳 東京大学出版会

☆飯沼二郎著作集 第四巻 市民運動研究 飯沼二郎著

☆西洋と朝鮮 姜 在彦著 文芸春秋

☆金日成回顧録 世紀とともに(4) キム・イルソン著

☆在日朝鮮人の就労実態調査 大阪を中心に 在日高麗労働者連盟

☆日本歴史と韓日関係 劉 相鐘著 学文社

☆第二次大戦前戦時期の日本教育関係文献目録 日本教育史研究会

☆朝鮮史文献目録 1945～1991 朝鮮史研究会

## 研究会御案内

## ◆合同研究会

日時 一九九五年7月16日(日)

第一部 朝鮮民族運動史研究会 第一四四回例会

時間 午後一時半～三時

報告者 森川展昭氏

テーマ 「延边自治区の成立について」

第二部 在日朝鮮人運動史研究会 第一七五回例会

時間 午後三時半～五時半

報告者 李 仁子氏

テーマ 「大阪周辺における在日朝鮮人の墓制」

\*場所はいづれも青丘文庫にて